



はったつしょう 発達障がい

障がいに起因する困難さも自立しますが優れた能力が発揮されている場合もあり、このアンバランスな様子を周りの人に理解されにくい障がいです。養育環境ではなく脳の機能障がいによるもので、どんな能力に困難さがあるか、またどのくらいの程度なのかは人によって様々です。

障がいの分類

注意欠陥多動性障がい (ADHD) 年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力及び衝動性、多動性を特徴とします。

学習障がい (LD) 一般的な知的発達に遅れはないのに、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難があります。

広汎性発達障がい (PDD) 対人関係や社会性の問題、こだわりや興味の偏りなどがあります。自閉症・アスペルガー症候群などが含まれます。



はいりよ 配慮

こんなサポートがうれしい!

何かをお願い、指示する場合は具体的に伝えてください。

障がいがあるために、指示をうまく理解できない場合があります。困難なことを「なぜ、できないのか」「なまけているのではないかと責められるのはつらいことです。できるだけ具体的に「今はこういう状況なので、こうしてください」と伝えてください。

絵や写真を使って説明されると分かりやすいです。

「知らないこと」「初めてすること」「変化に対応すること」が苦手です。説明するときは、短い文で、一つずつ順を追って、具体的にすることを示されると、理解しやすくなります。また、絵や写真を使って説明されると、より分かりやすいです。

じれい 事例

たとえば、こんなことがあります。

発達障がいのある人は、顔の表情などから相手の気持ちを推測して行動することが難しい場合があります。また、同時にたくさんのことを指示されると、適切な優先順位を付けられない場合があります。取り組む順番や、開始時間などをメモで渡すなどの配慮があると助かります。



まわりの人のサポートが大切です

はったつしょう 発達障がいとは...

ちてきおくれをともな伴うこともあります

しょうとくせい それぞれの障がいの特性

こうはんせい はったつしょう 広汎性発達障がい (PDD)

(自閉症、アスペルガー症候群を含む)

※DSM-5では自閉症スペクトラム障害 (ASD) という

- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、興味関心のかたより
- 不器用
- 感覚のゆがみ

ちゅういけつかん たどうせいしょう 注意欠陥・多動性障がい (ADHD)

※DSM-5では注意欠陥・多動性障害という

- 不注意 (集中できない)
- 多動・多弁 (じっとしていられない)
- 衝動的に行動する (考えるよりも先に動く)

がくしゅうしょう 学習障がい (LD)

※DSM-5では限局性学習障がいという

- 「読む」「書く」「計算する」などの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

この概念図は、厚生労働省作成リーフレット「発達障害の理解のために」と、DSM-5を参考に作成しました。DSM-5とは、アメリカ精神医学会の精神疾患の診断・統計マニュアルで、近年、日本でも、発達障がいの診断に広く使われるようになっていきます。

そうだん といあわ さき 【相談 & 問合せ先】

えぬびーおーほうじん とつとりけんじ へいししょうきょうかい
NPO法人鳥取県自閉症協会

※詳しくは、障がい福祉関係団体一覧 (P40) 又は相談機関一覧 (P42) をご覧ください。